



2025年 ぱんだ組生活発表会

『ぱんだ組のすきなこと』



子ども達は、ピアノの音に合わせて歩いたり走ったり、また動物になりきって表現したりと、リズム遊びを楽しんでいます。ピアノの音の高低や曲調、速さをよく聴き、音を感じ取りながら、音に合わせて身体を大きく動かしたり、ゆっくりとそーっと動いたり、思い思いに身体表現をしています。

活動が始まったときは、恥ずかしさからなかなか動けなかった子もいましたが、友達が楽しそうに取り組む姿に刺激されて参加できるようになったり、友達と一緒に挑戦できたりと、友達やときには先生の力を借りながら、取り組めるようになってきています。

これまでは保育者が様々な動きを提案してきましたが、最近では子どもたち自身が「こんなふうにやってみよう」と意見を出し合ったり、絵本を題材にして物語をつくったりと、子どもたちと一緒に遊びを広げていく場面も増えてきました。自分の考えたことが実際の活動の中で形になったときには「できた!」という喜びや達成感を味わい、さらに「もっとやってみよう」という意欲へとつながっています。

表現遊びを通して『自分の思いや考えを言葉や身体で表現する力』や『友達と力を合わせて一つの物語りをつくり上げる喜び』など、活動を通して多くの学びが見られます。

これからも、表現する楽しさを味わいながら、自分の思いを大切に、友達と共に活動を楽しめるような経験を重ねていきたいと思えます。



1学期から『サイバードリーム』という英語教材を使用して、英語遊びに取り組んでいます。色や果物、野菜、体の部位などを英単語で発音したり、英文を聞いて身体を動かしたり、英語の歌を歌ったりと、子ども達にとっても楽しく英語にふれあえるような教材となっています。



聞こえてくる単語やフレーズを真似て発音したり、英語の歌やリズムに合わせて声を出したりして遊び、活動を取り入れた頃からとても興味を持ち、楽しみながら参加する姿が見られ、子ども達からも「今日は、サイバードリームする?」「サイバードリームしたい!」とリクエストがあるほどです。「りんご」や「みかん」など日常生活の中でも聞きなじみのある英単語から、初めて聞くような言葉なども出てきますが、真似ることそのものを楽しみながら、少しずついろんな単語を覚えていくことも喜びに繋がっているようです。

また、リズムに合わせて身体を動かしたり、定型のフレーズを言いながらイラストの動きや音と一緒に声を出したりする中で「できた!」「言えた!」という小さな成功体験が積み重なり、それが意欲や楽しさにもつながっているように感じます。友達と一緒に参加することで「みんなで楽しむ時間」としてこれからも魅力ある活動になっていきそうです。



ルールのある遊びを楽しむ



ばくだんゲーム

1学期から、椅子取りゲームやジャンケン列車、フルーツバスケット、新聞紙ジャンケンなど、様々なルールのある遊びに取り組んできました。最初はルールを理解するまでに時間がかかる姿もありましたが、遊びが始まる前に一つひとつ確認したり、友達同士で教え合ったりすることで、少しずつ理解できるようになってきました。また、繰り返し遊ぶ中で、友達と力を合わせる楽しさや、ルールを守るからこそ味わえる面白さに気付くようになってきています。ときには負けて悔しい思いをすることもありますが「次は頑張る！」と前向きに気持ちを切り替える姿や「またやりたい！」と次回への意欲に繋げている姿も見られるようになってきています。こうした経験を重ねることで、自分の気持ちを立て直す力や、諦めずに挑戦する気持ちへと繋がっています。



フルーツバスケット



果物集めゲーム

同じ仲間か確認中



果物集めゲーム

同じ仲間を見つけたよ

2学期に入ってから、新しい遊び『果物集めゲーム』に取り組んでいます。

～ルール～

- ①果物のカードを一枚とり、他の人には見られないように名前を覚え、ポケットに入れる
- ②発してよい言葉は、自分が持っているカードの果物の名前のみ
- ③言葉をヒントに4～5人の仲間を集める

ゲームが始まると「りんご！」「バナナ！」といった声が部屋中に響き渡り、大盛り上がりでした。積極的に仲間を探しに行く子もいれば、恥ずかしくて声を出せない子もいましたが、友達が「一緒にやろう！」と声を掛けることで、一緒に楽しむ姿が見られました。友達を思いやる心や、自分の気持ちを言葉で伝える力が育まれてきています。

この遊びを通して、1人では難しいことも友達と協力すればできるという喜びを感じています。これからも、遊びの中で育まれた協力する力、挑戦する力、思いやる力を、他の活動へも繋げていきたいと思っています。

年中になってから「ばんだ組会議(こども会議)」という活動を始めています。みんなで円形に座り、活動の内容や、遊びの内容、ルールの確認など、様々なテーマで話し合っています。話し合う中で、自分の意見を言葉で伝えたり、友達の意見を聞いたりし、考えを深める場にもなっています。

ばんだぐみかいぎ(サークルタイム)のやくそく

<p>① しずかにききましょう</p>	<p>② じぶんのじゅんぽんになったらはなしましょう</p>
<p>③ あとまたちのはなしをひていしない</p>	<p>④ じぶんのきもちをことばでつたえる</p>

話し合いをするときの約束事もあり、みんなが気持ち良く自分の意見を発表できるような環境を心掛けています。

最初の頃は、思ったことをすぐに発言できる子もいれば「間違っていたらどうしよう」「うまく言えないかも」と緊張したり、少し恥ずかしそうにしたりしている子もいました。しかし、その中で友達が意見をだした子に対して「いいね」「それも楽しそう」と思いを受け止める姿が増えてきました。自分の思いを否定されずに聞いてもらえる経験を重ねるうちに、少しずつ『私も言ってみよう』と自分の考えを安心して伝えようとする姿が見られるようになってきました。

こうした経験を通して子ども達は、自分の考えを言葉にして伝える大切さ、相手の意見を受け止めることの大切さ、みんなで決めていく楽しさを感じてきています。今後も、安心して話し合えるクラスの雰囲気を大切にしながら、子ども達が自然と意見を出し合える姿を見守っていこうと思います。



友達と関わる楽しさを感じながら

年中の学年になり、友達との関わりがますます活発になり、遊びの中で相手を意識することが多く見られるようになってきています。ごっこ遊びや製作、戸外での集団遊びでは、自分の思いを伝え合う場面が増え「〇〇がいい」「△△もやりたい！」と、ときには意見がぶつかることもありますが、その中でどうしたら一緒にできるかを考えようとする姿が見られるようになってきました。このような経験を重ねながら相手の気持ちの気付き、また、自分の気持ちに折り合いをつけようとする力が育ってきています。

また、少人数のグループで遊ぶ姿も見られ始め「〇〇ちゃんと遊びたい」「一緒にいい」といった仲間意識が芽生えてきていますが、その反面、遊びたい子と遊べなかったとき、同じタイミングで一緒に行動ができなかったときなど、トラブルに発展してしまうこともあります。その都度、お互いの気持ちを受け止めながら関わっていくことで、子ども達は自分の気持ちを言葉で伝え、相手の思いを理解する大切さを学んでいっているところです。

友達と一緒にだからこそ生まれる喜びや発見を大切にしながら、そして、友達と関わるのがますます楽しくなるような時間を子ども達と一緒に積み重ねていければと思います。

